



# 消防だより

7月の広報テーマ  
「花火による火災の防止」

# 119

## 花火による 火災の防止

**夏**の夜の楽しみ「花火」。毎年、子供たちにとって楽しみな季節となりました。

しかし、花火による火災が全国各地で発生しています。夏の風物詩「花火」を楽しむ夏の思い出とするためにも、次のことに十分注意しましょう。

- 1、広くて安全な場所を選ぶ！
- 2、水バケツを用意する！
- 3、子供だけで絶対に花火をさせない！
- 4、花火は安全な場所に保管する！



## 住民自らによる 災害への備え

**突**然災害に襲われたら、あなたは最初に何をしますか。

災害時に一番大切なのは、命を守ることです。一人ひとりの命は、まず自分で守る・・・そして、家族、ご近所、自治会へと助け合いの輪を広げていきましよう。

特に、大規模災害時には、膨大な被災者の発生や、さらには消防を始めとする防災関係機関等も被害を受けることが予想されます。また、道路や水道などライフラインが寸断されるなど、防災活動に支障を来すケースが増大することが予想されます。こうした状況

のなかでは、住民が「自分たちのまちは自分たちで守る」という信念のもとに相互に助け合い、組織的に人命救助や初期消火、情報の収集伝達などの自主防災活動を行うことが必要不可欠



であり、住民の方々のこうした活動が被害の軽減に大きな役割を果たします。

防災は、自分と家族の生命、身体、財産にかかわる基本的問題です。

一度災害が発生すれば、自分や家族だけでは対応できない場合もありますので、日頃から近隣の人々との交流を深めて、手助けの必要な方がいる場合は、地域全体で支援体制を整えておくことが必要です。

また、それぞれの町内会や自治会のリーダーを中心として、自分たちの地域の防災について話し合いましょう。

## 電気配線等 からの出火防止

現在、生活のなかで家電製品やOA機器など、数多くの電気器具を使用するようになりました。

このため、使用する電気製品に対しコンセントが不足し、「たこ足配線」になりがちです。コンセントの電気の許容量を超えて電気器具を使用するとコンセントやコードが過熱し、火災になることもあります。コンセントの許容量にあった機器の配線を行い、「たこ足配線」は絶対にやめましょう。

また、傷ついたコードを使用したり、束ねた状態や重い物が載った状態であると、その部分



電気器具は正しく使い、たこ足配線はしない。

に負荷がかかって断線し、出火する可能性がありますので大変危険です。傷ついたコードは早めに交換し、重い物を載せたり、束ねた状態での使用はやめましょう。

統一標語は

「消さないで

あなたの心の 注意火」

# fire

5月の

火災件数	0件
救急件数	47件

